



むさしの ジャンボリー

市内在住の小学4年生～6年生が、夏休み期間中に長野県川上村で2泊3日の自然活動体験を行う「むさしのジャンボリー」。昭和47（1972）年にスタートし、のべ5万人以上の子どもたちが参加してきた、世代を超えた大自然の中での共同生活が今年50回を迎えます。むさしのジャンボリーに長く関わる3名に集まっていたいただき、昔と今、これからについて語っていただきました。

一度はまると
抜けられない？
大自然がいざなう
ジャンボリーの魅力

■本郷さん 「むさしのジャンボリー」は、自然豊かな長野県川上村の「市立自然の村」で、市内在住の小学4年生～6年生と大人が2泊3日の共同生活を行います。キャンプファイアや星の観察、飯盒（はちう）での食事づくりなど、都会では味わうことのできない野外活動を体験できるのが醍醐味（だいごみ）です。武蔵野市と市立小学校の12学区域ごとに設置されている青少年問題協議会地区委員会（青少協）との共催で行われ、地域の大人は指導員、リーダーとして、中高生はサブリーダーとして参加して子どもたちの野外活動をサポートしています。地区ごとに市と連携を取りながら実施を続けて、今年で50回を迎えま

た。私は小学生の時に初めて参加したジャンボリーの楽しさが忘れられず、気が付けば関わり続けて30年がたちます。

■嶋田さん 一度はまるとなかなか抜けられない「ジャンボリー沼」っていうのがあるんですよ（笑）。

■児玉さん そのくらい、子どもだけじゃなくて大人にとっても、ここできか得られない豊かな体験があります。私もそれが楽しくてずっと関わり続けている感じです。参加した小学生にとっては、保護者がいない環境で知らないお兄さんやお姉さん、おじさんやおばさんたちと3日間過ごすわけですから、行く前と後とは顔つきが変わっているような気がします。

■嶋田さん よりたくましくなるといふか、何かをやり遂げたという達成感が顔に出るんでしょうね。

■児玉さん うちの地区では、中高生





市内では味わえない大自然の中でのハイキング

リーダーが主導で進めているのですが、彼らにとっても、自分たちが企画したプログラムが小学生たちに好評だと、それが一つの成功体験になって、「次はもっと楽しんでもらえるようにしよう」という前向きな姿勢になる。中高生にとっても、家庭や学校とはまた違った意味での成長の場になっているのだと思います。

■本郷さん 私が小学生の頃の参加費は2500円で、親からすれば、夏休みの3日間、そのくらいの金額で子どもを預かってもらえるのはすごく助かったと思います。特にうちは自営業



仲間との絆が深まる夜のお楽しみ
キャンプファイア

だったので家族そろって旅行に行くような環境ではなかったですから。周りにも参加している子どもがたくさんいたので、当たり前のように自分も行くものだと思っていました。当時は参加希望者が多かったので、私の地区では抽選の年もありましたね。

今はほかにも選択肢がたくさんあるので、ジャンボリーはその中の一つという感じかもしれません。キャンプ場に行けば便利なものがそろっています。が、ジャンボリーは、お風呂がないとか、自分たちでまきを割らなければならぬとか、明らかに今の時代からすると不便なことばかりですから(笑)。でも、それをあえて楽しんでみようという気持ちになってもらえるような工夫を私たちもしていく必要があると思います。

■児玉さん 夏休み期間とはいえ、小学5・6年生になると、塾の夏期講習やスポーツの合宿などで忙しくて、親

御さんから「参加させたかったんだけどごめんさい」と言われることも増えました。昔に比べて今は子どもが忙しくなっているのは確かですね。だからこそ、なおさら自然活動が必要なのではないでしょうか。

コロナ禍を乗り越え 50回目の節目を迎えて 新たな一歩を

■本郷さん 今年はジャンボリーが始まって50回目の節目の年です。これまでも10年単位で活動の見直しはしてきましたが、コロナ禍では青少協のイベント自体がほとんど中止になったこともあって、ジャンボリーも3回中止に。私の地区では、果たしてこのまま継続すべきなのかという議論にもなりました。コロナ禍を乗り越え、50回目の節目を迎えた今、またここから新たな一歩のはじまりという気持ちです。

■嶋田さん 昨年の第49回は、コロナ禍明けだったので比較的小規模での開催になりましたが、やはりここまで長く続いてきた有意義な活動ですから、プログラムの内容や告知の方法なども含めて工夫をしながら継続していきたいですね。

■児玉さん 最近では、かつてリーダーだった方のお子さんが参加してくれたりして、50回続いてきた歴史を感じます。中には、社会人になって市外に移ってからリーダーとして参加してくれている方もいます。職場以外に、上下関係や利害関係のないコミュニケーションがあるのって大人にとってもすごく楽しいんですよ。

■嶋田さん 参加した小学6年生から「楽しかったので来年からはサブリーダーとして来ます!」と言われたときはすごくうれしかったです。やっつけてよかったと思える瞬間でした。

■本郷さん 初めて参加する方は最初ちよつと尻込みするかもしれませんが、怖がらずに一歩踏み出してほしいですね。

■児玉さん ただ星を眺めるだけでも本当に心が洗われるし、まずは体験してみてほしい。

■嶋田さん 親御さんにもぜひお子さんの背中を押してもらいたいですね。きっと、お子さんの一回り成長した姿が見られると思いますよ。



むさしのジャンボリーの概要はこちら